

IARU Courses 2020 参加学生募集要項

2019.12

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUCourses.html>

1. 概要

IARU Courses 2020 は、IARU*に加盟する世界トップレベルの 11 大学が開講する短期の学生交流プログラムである。長期での留学計画を立てるのが難しい学生でも参加可能な短期集中型プログラムを実施している。

*IARU (イアルー : International Alliance of Research Universities、国際研究型大学連合)
将来のグローバルリーダーを養成する世界トップクラスの 11 の研究型大学からなる大学連合。研究・教育の様々な連携を行うことを目的として 2006 年 1 月に設立された。IARU 加盟大学は日本では本学のみ。

今回、**IARU Courses 2020 として実施されるコースのうち、別添 1「募集コース一覧」に記載されたコースへの派遣学生を募集**する。参加を希望する学生はそれぞれのコースに直接応募する必要があるが、本学にも応募した場合、以下のような利点がある。

- ① 本学から情報提供や手続きのサポートを受けることができる。
- ② 本学を通して支給される奨学金に申請できる。
- ③ 本学と派遣先大学間の授業料免除に基づく派遣枠に優先して推薦される(予定。コペンハーゲン大学主催のコースのみ)。
- ④ 本学が実施するオリエンテーションや交流会等へ参加できる。

募集コースの詳細は、別添 1「募集コース一覧」及び各コースのウェブサイトを確認すること。**今後も情報が更新される可能性が高いため、最新情報は必ず別添 1 に加えて各コースのウェブサイトを確認すること。**

IARU Courses 2020

<http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2020>

※ 各コースの受入可否については、派遣先大学が判断する。

※ 派遣先大学から付与される単位は、必ずしも本学の単位への振り替えが保証されるものではない。

2. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たすこと。

- (1) 各コースが求める条件を満たすこと。コースによっては学年・専攻分野・英語能力等の条件が設けられている場合があるため、各自ウェブサイトを確認すること。
- (2) 申請時に本学の学部又は大学院の正規課程に在籍しており、留学期間中を通じて在学する者。(プログラム期間中に休学中の者は参加できない。)
- (3) 本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。
- (4) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、参加時の所属部局(学部・研究科)等の判断による。当プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。

※ 教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、

詳細は教養学部教務課に確認すること。

- (5) 参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、当プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がいない学生は、参加時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (6) 参加時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、申請書の所定の欄に署名をもらい、納得した上で申請すること
- (7) 留学プログラムへの応募手続き（プログラムによっては宿泊先の手配も）等は、英語を使用し、学生本人の責任で、ウェブやメールを通じて海外大学に対して直接行うことになる。このため各種提出書類の準備や締切日の確認等を自ら主体的に行える者であること。
- (8) 【保険への加入】プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること（加入に要する経費は自己負担となる）。本保険に加入することを参加の条件とする。
- (9) 【派遣留学生危機管理サービスへの加入】所属部局により、プログラム参加中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス（株）の派遣学生危機管理サービス OSSMA (Overseas Student Safety Management Assistance)への加入を義務づけられる場合がある。プログラムへの参加が決定した場合、OSSMA への加入については、所属部局の指示に従うこと（加入に要する経費は自己負担となる。）
- (10) 【奨学金受給における資格・条件】本プログラムの奨学金は、個人・法人等からの寄附金や奨学金プログラムによる資金が充てられているため、資金提供者との懇談会への出席、報告書の提出、アンケート調査への協力等の依頼があった場合には、可能な限り協力すること。

3. 費用

授業料・宿泊料・航空賃・ビザ取得のための費用等、参加に要する経費は自己負担となる。

授業料については、コースによって、不徴収（無料）や IARU 加盟大学からの参加学生向けに割引制度がある場合もある。自己負担費用の目安は「別添 1_募集コース一覧」の項目「Estimated Program Fees」を参考にするとともに、詳細をウェブサイトで確認すること。

IARU Courses 2020

<http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2020>

4. 奨学金

概要は(1)～(3)の通り。詳細は別添 2 参照のこと。

- (1) 別添 2「奨学金の支給要領及び受給資格・要件について」の受給資格・要件を満たす参加者のうち、希望者に奨学金を支給する。
 - (2) 奨学金の受給には、派遣前に派遣先大学から発行される受入許可書など正式に受入が認められたことがわかる書類・メール等、及び派遣後に求められる報告書を、国際交流課に提出する必要がある。
 - (3) 奨学金の支給が参加費用の支払い締切日の後となったり、プログラム終了後となったりする可能性がある。参加費を一旦全額各自で支払う必要がある場合もあるため、家族に相談する等の準備を進めておくこと。
- ※ 米国で開催されるプログラム（本募集に限らない）に参加を希望する者は、米国の NPO 法人 Friends of UTokyo, Inc. (FUTI) による奨学金にも同時に応募可能である。FUTI の奨学金への応募を希望する者は、FUTI のウェブサイト (<http://www.friendsofutokyo.org/>) を確認の上、本募集への応募と同時期に FUTI へ直接応募すること。（2 月末締切予定。）
- ※ 国費外国人留学生については同制度上、本奨学金は受給できない。ただし、本プログラム参加に係る参加費及び旅費の実費（いずれも食費等の生活費を除く）については、その一部を大学が支援する場合がある。詳細は所属部局（学部・研究科）の担当部署に確認すること。希望者は、UTAS 申請時の 11.特

記事項欄に「実費支援希望」と記載すること。(奨学金受給希望状況確認書の提出は不要。)

5. 応募締切

2020年2月7日(金)正午

- ※ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられるため、申請できない。また大きな不備のある申請は、締切前に申請を完了しても受理されない。
- ※ 東京大学の募集期間は各コースが定める申請締切と異なるため、注意すること。

6. 選考

- (1) 東京大学グローバルキャンパス推進本部で学内選考(書類審査)を行う。
- (2) 選考結果は、Eメールで学生本人及び所属部局担当部署に通知する。
- (3) やむを得ない事情で申請を取り下げの場合には、遅滞なく本部国際交流課へ知らせること。

7. 学内選考通過～プログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

参加手続き及び渡航手続き、査証(ビザ)取得手続き等は、派遣先大学の指示に従い、また、留学先の国や地域の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とする。

【学内での手続き】

- (1) 所属部局の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(必要な手続きは、所属部局毎に異なる。)
- (2) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (3) 申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。必要事項の連絡の際に必要となる。
- (4) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、早急に本部国際交流課(studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)に連絡すること。
- (5) そのほか、東京大学・派遣先大学が指示する注意事項に従うこと。

【保険への加入】

前述のとおり、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会(JEES)の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること(加入に要する経費は自己負担となる)。加入に当たっての手続き等は、プログラム参加決定学生に追って連絡する。

【留学のための情報、危機管理】

一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>) 特に、海外渡航危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。

8. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は、東京大学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

9. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際交流課が定める報告書(所定様式)

を本部国際交流課へ提出すること。なお、提出された報告書類は、学内外の広報や学生の参考資料等に活用する場合があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。

- (2) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

10. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) 奨学金、申請手続きに関すること：
 東京大学本部国際交流課 学生派遣チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 授業・試験日程、単位認定、その他本学での学務関係の事項：
 応募時及び参加時の所属部局の担当部署
 各部局の担当部署一覧
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>
- (3) プログラム内容の詳細等：
 IARU Courses 2020 のウェブサイトに記載の各コースの問い合わせ先
<http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2020>

11. 応募方法・応募書類

- (1) 本部国際交流課への申請と同時に、参加を希望するコースへの応募を進めてもかまわない。
 ※ 派遣先大学への応募が別途必要となるため、募集締切が早いコースや、参加人数が限られたコースへの参加を希望する場合は、並行して派遣先大学への応募を行うことを勧める。
 ※ 本学からのサポートや奨学金の受給等を受けるためには、派遣先大学から受入許可を得るだけでなく本募集の申請を完了させる必要があるため注意すること。
- (2) 応募締切日までに学務システム（UTAS）からの電子申請を完了させること。
 ※ UTAS の『基本情報』及び『4. 家族等関係者の連絡先【日本国内の緊急連絡先】』は申請画面では記入・変更できない。そのため空欄または変更が必要な場合は、応募時の所属部局の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
- (3) UTAS の『8. 留学希望プログラム』では、最大第三希望までコースを選択できる。複数のコースへの参加を希望する場合は、その旨を『11. 特記事項』で明記すること。
- (4) “University of Cambridge International Summer Programmes”への参加を希望する場合は、参加したい具体的なコース名と Term（設定されている場合）を『8. 留学希望プログラム』の「備考」欄に記載すること。（例：“History Summer Programme と Literature Summer Programme Term II”等）
- (5) “YAL - Yale Summer Session”への参加を希望する場合は、参加したい具体的なコースと Session（設定されている場合）を『8. 留学希望プログラム』の「備考」欄に記載すること。（例：“Yale College Courses for Credit Session B と Yale Writers' Workshop Session II”等）
- (6) 本プログラムの申請には、特別な事情のない限り語学能力証明書の提出を必須とする。
- (7) 電子申請時に『16. 添付資料』でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

提出書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。
・パスポート顔写真ページの写し	不要	
・語学能力証明書	全員	

TOEFL iBT、IELTS	保持者のみ	電子申請時『9. 語学能力』で入力した場合、提出必須。(注1) 参照。
TOEFL iBT、IELTS 以外	保持者のみ	電子申請時『9. 語学能力』で入力した場合、提出必須。(注2) 参照。
※特別な事情で英語能力試験等を受験していない場合 ((注3) 参照)	該当者のみ	電子申請時に『9. 語学能力』に入力すること。
・誓約書	全員	指定書式 (ダウンロード) を記入・署名後スキャンした PDF を『16.添付資料』へアップロード。申請時未成年は保証人の署名も必要。
・グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム 申請に係る留意事項確認書	全員	(注4) 参照。
・奨学金受給希望状況確認書	該当者のみ	詳細は別添2 参照。記入後スキャンした PDF を「16.添付資料」へアップロード。

(注1) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS) (2020年2月7日 (金) 時点で、有効期限内のものとする)

次のいずれかを提出すること。

- ・ TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写し (TOEFL については受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする)。

(注2) 語学能力証明書 (TOEFL iBT, IELTS 以外)

TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアを所持していない者や、TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアに加えて他の語学能力証明書を持っている者は、以下のいずれかを提出することができる。

- ・ TOEFL ITP、TOEIC のスコアの写し、または実用英語技能検定の合格証明書の写し。
- ・ その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写し及び、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ)。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
- ・ 英語以外の語学能力試験のスコアの写し。

(注3) 特別な事情で英語能力試験等を受験していない場合

特別な事情 (英語圏の高等学校を卒業、英語コースに在籍等) により、英語能力試験等を受験していない場合は、その旨を、電子申請画面の『9. 語学能力』の①または②に記入すること。

(注4) グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム 申請に係る留意事項確認書

- ・ 指定書式 (ダウンロード) を申請書 (UTAS 上の電子申請) の内容と同一になるように記入し、参加時に所属する予定の部局担当者の署名をもらった後、スキャンした PDF をアップロードすること。署名を貰う際は申請書 (UTAS 上の電子申請、全ページ) のプリントアウトも必ず持参すること。
- ・ 参加時に所属する予定の部局及び申請者の署名がない確認書については、書類不備とみなし申請を認めないので注意すること。
- ・ 参加時に所属する予定の部局担当者の署名をもらった後、申請書 (UTAS 上の電子申請) を変更したことが判明した場合、不採択となる。

【電子申請応募先】

学務システム (UTAS) にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

- ◇ 学務システム (UTAS) : <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>
- ◇ 海外派遣プログラム申請の手引き (PDF) : <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400099994.pdf>

【申請書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-IARUCourses.html>

12. 東京大学で開講されるコースへの参加方法

以下の東京大学において開講される IARU Courses は本募集による応募申請は必要なく、本学学生は集中講義として通常の授業と同様に受講可能である。（ただし、教養学部前期課程の学生は履修できない。）受講を希望する場合は、2020年 S2 ターム（詳細は新年度になってから確認すること）の履修登録時に履修手続きを行うこと。他学部聴講となる場合は、所定の手続きに従って履修登録を行うこと。授業はすべて英語で行われるので、留学前の準備としても非常に効果的である。海外の学生との交流を通じ、学内で国際交流ができる人気プログラムである。

- ◇ Japan in Today's World (JTW) （法学部開講）
- ◇ Nanoscience (NANO) （工学部開講）
- ◇ Sustainable Urban Management (SUM) （工学部開講）